



YMCA訪問看護ステーション・ピース 編集部
広島市中区八丁堀7-11
TEL 082-225-3020
FAX 082-225-3032



ことしは…

春の日差しが心地よくなってきました。皆様お変わりございませんか。前回の広報誌から早半年が経とうとしています。

今年は、ピースが誕生して20年を迎える年にあたります。1992年に老人訪問看護ステーションのしくみができ、その後、乳幼児への訪問もできるようになりました。また、2000年には介護保険制度が始まり、現在のような在宅医療の形になっていきました。

その中でピースは、1996年4月に開設しました。20年の間、ご利用者様、ご家族様、医療・福祉関係の方々など、多くの方にご支援、ご指導いただき誠に感謝申し上げます。どんな病気や障害であっても、在宅で安心して生活できるように、最期まで住み慣れた家で過ごしたいというご希望に添えるようにお手伝いをしてまいりました。

今後ご利用者様、ご家族様が安心して療養生活を送ることができ、訪問看護を利用してよかったとだけ思ってもらえるよう、また、地域にも貢献していけるようスタッフ一同ひとつになって歩んで参る所存です。今後ともご支援、ご指導のほどよろしくお願い致します。



介護保険情報



団塊の世代の方々が75歳を迎える2025年（平成37年）に向けて、「地域包括ケアシステム（医療・介護・予防・住まい・生活支援）」の構築が進められています。

今回の改定では、自分の生活する地域で安心して最期まで生きるために、①質の高い介護サービスの確保②介護職員の確保と資質の向上③サービスの適正化が改定のポイントになっています。

医療依存度が高くなったとしても、認知症になったとしても、「住み慣れた地域で自分らしい生活を続けられるように」ピースもこれまで以上に引き続きサービスの充実を図る所存です。



最後の1球はカープで

今季からカープに復帰される黒田選手は「どれだけ気持ちを込めて投げられるかを考えた時、カープで投げて最後の1球になった方が後悔は少ないんじゃないかと思いました」と語っていました。

ファンや球団は黒田選手をずっと待ち続け、またその熱意に応えてくれた黒田選手…立場は違いますが、私たちピーススタッフも「在宅の療養はピースで」と利用者様から言っただけのように日々精進していきたいと思えます。



ピースいまどき

数年前からピースにひっそりとたたずんでいる“胡蝶蘭”。手入れも行き届いていせんが、ただ葉っぱだけは元気でした。そんな胡蝶蘭が数年ぶりに花芽をつけ、見事きれいなピンクの花を咲かせてくれました。そんな胡蝶蘭のように、ピースも20年を迎えた今年、もうひと華!?咲かせたいですね～。



風知草 其の二

こんにちは、私は在宅生活4年目の車椅子ユーザーです。

暦の上では春でも寒さの苦手な私にはまだまだ辛い気温です。それでも相棒の簡易電動車椅子に乗り元気に外出しています。

ところで皆さんJRやバスの中、路面電車に乗られている車椅子の方を見かけたことはありますか。乗るまでの方法を少しご紹介したいと思います。JR広島駅ではスロープをお願いする場合、在来線だと15分以上前には改札で申し込む必要があります。担当の方を待つまでとても寒いです。路面電車では後方の車掌側の入り口にスロープがあります。なので、電停の位置によって乗りやすさが変わってきます。不便さを感じるところもありますが私を見かけることで少しでも車椅子を利用する方を気にかけてくれる方が増えれば良いなと思い外出しています。



あさまだき



2015/03/30 06:07